

熊本県は「水銀フリー」社会を目指しています。

「水銀フリー」とは、水銀が含まれている製品をできる限り使用しないようにし、また、使用済みの製品を適正に廃棄することにより、最終的に水銀が使われなくなる状態を言います。

水銀は、体温計や蛍光灯など身近な製品に使われ、私たちの暮らしの中で役立ってきました。この一方で、水銀は環境中に放出されると環境汚染や健康被害の原因となる恐れがあります。水俣病を経験した熊本県は、世界に率先して「水銀に頼らない社会の実現」を目指します。

水銀フリー社会に向けて 私たちができる取組み



- 1 水銀を含む製品を知り、正しく使用する。
- 2 買い替えの際には、できる限り水銀を使用していない製品を購入する。
- 3 水銀を含む製品を正しく廃棄する。

水銀が含まれている製品(例) → 水銀を使用していない製品(例)



※現在国内で生産されている乾電池に、水銀は使用されていません。

水銀フリー社会に向けた熊本県の取組みは熊本県ホームページをご覧ください。

水銀フリー熊本 検索

公共関与最終処分場(エコアくまもと)

玉名郡南関町に建設中の公共関与による産業廃棄物の最終処分場が、今年秋頃に完成する予定です。

当処分場は、産業廃棄物最終処分場としての安全性を極限まで追求するとともに、県北の環境教育の拠点となることを目指し、循環型社会を体系的に学習できる、豊かな自然と融和した施設として整備しています。



ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の処理について



トランスやコンデンサ等の電子機器の絶縁油として使用されてきたポリ塩化ビフェニル(PCB)は、その毒性が社会問題となったことから、高濃度PCB廃棄物を保管する事業者は平成31年3月末までに処理することとされています。

すべての高濃度PCB廃棄物の処理が一日も早く完了するよう皆様の御協力をお願いします。詳しくは、廃棄物対策課適正処理推進班(096-333-2278)に問い合わせください。

発行/熊本県ごみゼロ推進県民会議・熊本県

編集/熊本県ごみゼロ推進県民会議事務局(環境生活部環境局廃棄物対策課 TEL 096-333-2277)

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

・この情報誌は、熊本県ホームページ
(http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_6188.html)に掲載しています。

※この情報誌は、再生紙を使用しています。

発行者:熊本県
所属:廃棄物対策課
発行年度:平成26年度